

第2回 千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事概要

1 日時：平成28年8月4日（木） 14：00～15：30

2 会場：長野市若里市民文化ホール 2階 会議室1・2・3

3 出席者

●構成員

- ・長野市長 加藤 久雄（同席：危機管理防災監 西澤 清己）
- ・松本市長 菅谷 昭（代理：消防防災課長 中嶋 岳大）
- ・上田市長 母袋 創一（代理：総務部長 宮川 直）
- ・須坂市長 三木 正夫（代理：消防本部 警防課長 田村 忠男）
- ・中野市長 池田 茂
- ・大町市長 牛越 徹（代理：副市長 吉澤 義雄）
- ・飯山市長 足立 正則（代理：副市長 月岡 寿男）
- ・千曲市長 岡田 昭雄
- ・安曇野市長 宮澤 宗弘
- ・生坂村長 藤澤 泰彦（代理：総務課長 牛越 宏通）
- ・池田町長 甕 聖章（代理：副町長 大槻 覚）
- ・松川村長 平林 明人
- ・坂城町長 山村 弘
- ・小布施町長 市村 良三（代理：副町長 久保田 隆生）
- ・木島平村長 日臺 正博（代理：総務課長 佐藤 裕重）
- ・野沢温泉村長 富井 俊雄
- ・栄村長 島田 茂樹（代理：総務課長 石沢 清人）
- ・長野地方気象台長 尾台 正信
- ・長野県 危機管理部 危機管理防災課長 竹内 善彦（代理：危機対策幹 吉原 正夫）
- ・長野県 建設部 河川課長 新家 智裕
- ・北陸地方整備局 大町ダム管理所長 渡部 修
- ・北陸地方整備局 千曲川河川事務所長 堤 達也

●オブザーバー

- ・東京電力パワーグリッド株式会社松本電力所長 大河原 健治（代理：松本電力所課長 田尻 功）
- ・NHK長野放送局 放送部長 柳澤 伊佐男
- ・信越放送株式会社 報道部長 水野 正也（欠席）
- ・株式会社長野放送 報道部長 早川 英治（欠席）
- ・株式会社テレビ信州 報道部長 松岡 隆
- ・長野朝日放送株式会社 報道部長 草田 敏彦
- ・長野県警察本部 警備部 警備第二課長 大川 雄一（代理：警備第二課災害対策室）
- ・陸上自衛隊松本駐屯地第13普通科連隊第2科長 由良 恵介

4 議事

- (1) 千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会規約の改正について
- (2) 幹事会の報告について
- (3) 千曲川・犀川流域の減災に係る取組方針（案）について

5 議事概要

(1) 千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会規約の改正について

- ・減災対策協議会幹事会の構成見直し（第4条第2項別表2）について確認し、了解を得た。

(2) 幹事会の報告について

- ・本協議会に先立ち幹事会を開催した件について、報告を行った。

(3) 千曲川・犀川流域の減災に係る取組方針（案）について

- ・第1回減災対策協議会において確認した目標につき、これを達成するための取組3本柱に各構成員が、それぞれ取り組むことをとりまとめた「千曲川・犀川流域の減災に係る取組方針（案）」として確認し、了解を得た。

以上をふまえて、協議会構成員で協力して取組方針を実施していく事を確認した。

【構成員からの意見や質問、要望など】

<長野市>

- ・長野市タイムラインを定めたところだが、新たに公表された1000年に1度のような確率の浸水想定区域図では浸水エリアも深さも増えているため、防災行動の再確認と検証を行い有事の際に的確に対応できるよう改良を重ねたい。
- ・広域避難において、現時点では市内での避難を考えているが、近隣市町村からの受け入れ含め広域的な避難計画について検討を進めていきたい。

<中野市>

- ・長野市や千曲市の先行事例にならい、タイムラインに取り組みたい。
- ・千曲川下流部は浸水すると水がはげにくい特性があり、避難行動と排水活動は両輪として、いずれも重要である。

<千曲市>

- ・広域避難をどうしていくかが今後の課題である。
- ・住民に水害の怖さをしっかり教育しなければならない。

<安曇野市>

- ・水害に対する取組が遅れていることを反省し、避難場所の確保と見直しが課題と考えている。
- ・公共施設や観光地がある地域などが洪水時に混乱することを心配しており、立ち退き避難区域の検討をしていきたい。
- ・広域的に各市町村が避難場所等を検討していく必要があり、近隣市町村との広域連携が大切である。
- ・ハード対策としては、堤防の天端の舗装整備を実施するとのことなので感謝を申し上げたい。
- ・水防活動の支援のため、監視カメラを設置してもらいたい。また、簡易水位計や量水標の設置も必要になる。

<坂城町>

- ・本日の水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組方針を聞いて、新たに危機感を認識した。

<野沢温泉村>

- ・本日の会議資料を見て、よく熱心にまとめていただいたと、国の誠意を感じており感謝する。
- ・飯山市の一部から野沢温泉村・栄村・津南町・十日町の一部まで直轄河川ではないため災害予想区域、ハザードマップ等載っていない。できれば長野県もこういうのを作って、一緒に説明して頂ければと思う。

<大町市>

- ・大町市では、浸水想定区域（計画規模降雨）のデータを利用して作成した主要河川の浸水シミュレーションを市のホームページで公開し、広く周知に務めているところである。
- ・犀川沿川は、掘り込み河川であり、適切な避難体制を確保することで被害を最小限に抑えることができることから、簡易水位計、量水標およびライブカメラ等の設置をお願いしたい。

<飯山市>

- ・千曲川の左岸そして樽川の堤防の決壊から約 75 年、本格的な堤防の施工から 100 年という記念の年と聞いている。この機会に市民に洪水について啓発していきたいと思う。
- ・避難所について、現在の 9,000m³/s 対応の所で避難所の指定をしていないため、避難所の見直しを早急に進めていかななくてはと思っている。
それから、予算の確保を千曲川河川事務所にはお願いしたいと思っている。さらに、9,000m³/s、7,500m³/s と含めて災害に対応できるよう、直轄河川への編入をお願いしたい。

<池田町>

- ・ハード対策については、是非進めていただきたい。
- ・ソフト対策についても、小・中学生の水防訓練や役場職員、自治会の方々への教育の部分で、専門家の講師派遣など支援を頂きたい。
- ・池田町の取り組みとしては、防災計画、ハザードマップの見直しを図っており、しっかりとやっていきたい。

<小布施町>

- ・小布施町は防災訓練において、最近では地震を想定した訓練を中心にやってきたが、昨年の鬼怒川の決壊もあり、今年には千曲川の決壊を想定した訓練を行い、水防災意識社会の構築の重要性を考えているところである。
- ・千曲川に流れ込む松川のハザードマップが明示されていないため、はたしてこれでいいかと考えている。長野県とも相談し松川はどうなるのか詰めていきたいと思っている。

<松川村>

- ・村としても地震の避難、防災訓練に加えて水害に対しても、十分に対応をしていかなければと実感をしているところである。
- ・最近では異常気象もあり、地震が起きた後に、雨が続くことによる複合災害が心配される。そういった部分も広域連携をもち、情報を早く得られるようにしていきたい。

【協議会その他の方】意見

＜長野県建設部河川課＞

野沢温泉村村長から話のありました、千曲川の県管理区間の想定最大規模の浸水想定区域図の作成について、県管理区間のうち洪水予報、また水位周知河川の34ヵ所の浸水想定区域作成を最優先と考えている。ただし、まとめてはできないため、分割してと考えている。

千曲川の県管理区間については、現在、浸水想定区域図を策定中である。状況がわかり次第、関係する市町村に周知をさせて頂く。

＜千曲川河川事務所＞

タイムラインを長野市、千曲市で策定しており、その他の沿川市町村においても策定していきたいと思っている。想定最大規模の浸水想定区域図を公表したことにより、各市町村はこれを元に洪水のハザードマップを作成することになる。必要であれば、河川管理者として支援していきたい。

千曲川・犀川に関してはインターネットで水位等の情報を公開している。また、水位計についても、危険箇所順に設置する計画としており、適宜情報提供したい。

以 上